

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら〜っと」教えてもらった。
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなあ…）

これは、アクセスにあくせんす（悪戦す）る苦闘の日記である。（^^;）

前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教えを乞う。先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。

（^^;）ヤキニクハントウでゴマカシテ…

第1ステップで項目の洗い出しと「繰り返し」の分解、第2ステップで一部のキーだけに従属している項目を分離、第3ステップでキー以外の項目に従属している項目を分離、などしているうちに、ACCESSの「テーブル」らしきものが出来つつある。パソコンにちっとも触らないことに不安を感じつつ感心する野口。果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

7月×日

野口：「先輩！もうそろそろパソコン上でACCESSを教えてくれてもいいんじゃない？」

先輩：「そうだね。前回までにテーブルの骨格はすべてできた。それじゃあ次は…」

野口：「ナゾはすべて解けた。犯人は…あなただ！つかあ。（^^）」

先輩：「キミ、ほんとに教わる気あるの？ヤキニクは弁当ばかりだし、たまにはランクを上げてくれていいんじゃない？」

野口：「すみません！授業料のことを言われると辛いものがあるんで、先行きましようか。」

先輩：「ふん！ま、いいか。では、前回作ったテーブルはこんなもんだったね。」

ファンド		総合収益		資産区分		ファンド実績	
**	ファンドコード	**	ファンドコード	**	資産区分コード	**	ファンドコード
**	ファンド名	**	年月	**	資産区分名	**	資産区分コード
			総合収益	*	ベンチマークID	**	年月
ベンチマー		ベンチマーク実績		政策アセット			収益率
**	ベンチマークID	**	ベンチマークID	**	資産区分コード		超過収益率
**	ベンチマーク名	**	年月	**	政策アセット		時価総額
			指数値		下限		構成比
			収益率		上限		

野口：「やっとテーブルらしくなりましたねえ。」

先輩：「そお。では、リクエスト通りにパソコン上で新規にテーブルを作ってみて。」

野口：「作ってみてって、それを教えてくれるんじゃないの？」

先輩：「ACCESSの操作を教えるなんて言ってないよ。データベースについて教えてあげると言ったんだよ。第1回を参照してごらん。それに、ACCESS2000セミナーテキストに書いてあることをいちいち解説するわけにはいかないねえ。参照ページだけ教えるから、後は自分でやってみてね。（^o^）」

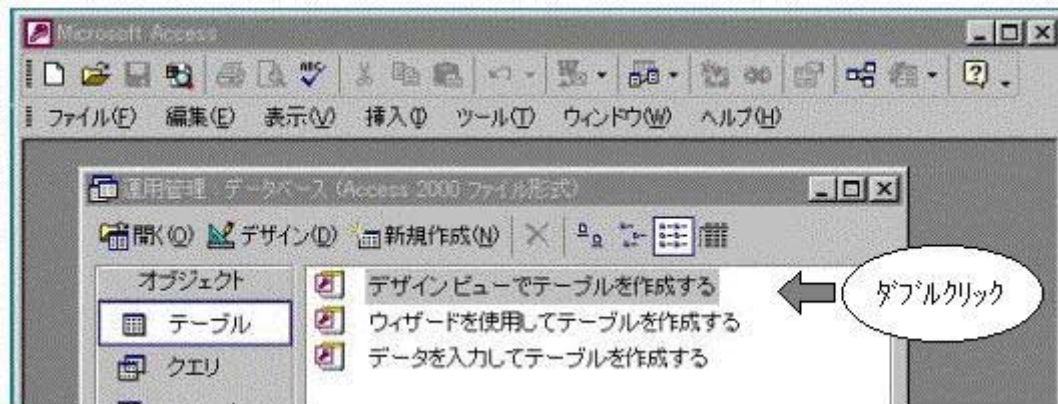
野口：「…鬼っ、人非人！手取り足取りって言ったのに…」(TT;)

先輩:「まあまあ、そう嘆きなさんな。とにかくテキスト^{(*)1} 応用編の第1章『テーブル』を開いて。」

*1) テキスト Microsoft Access2000 セミナーテキスト (初級編・応用編)
以降は、“テキスト”という場合はこれらを指します。

先輩:「今回やるのは、データベースの新規作成とテーブルの新規作成だ。パソコンを立ち上げて、どこかに実習用のフォルダを作ってね。『運用管理』ってフォルダ名にしようか。次に、“運用管理”という名で新規データベースを作成してごらん。」

野口:「はいはい。」 [テキスト応用編P4~5を参照]

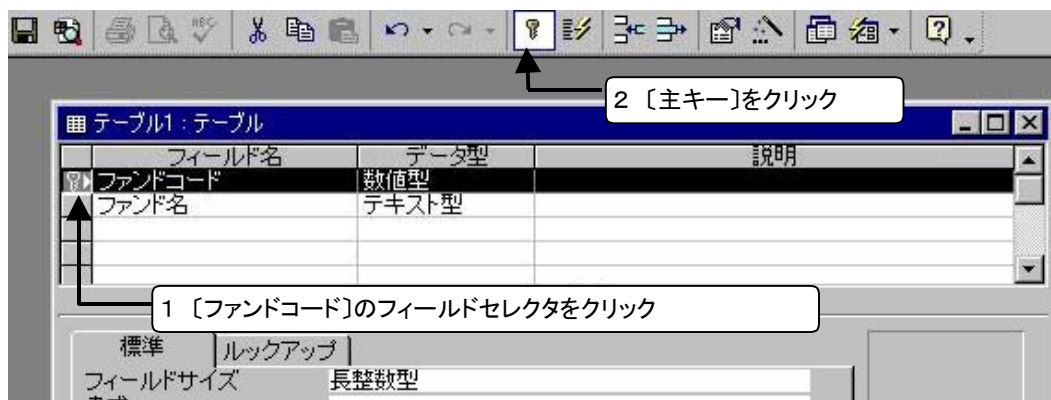


野口:「こんなんでもいいでしょうか?」

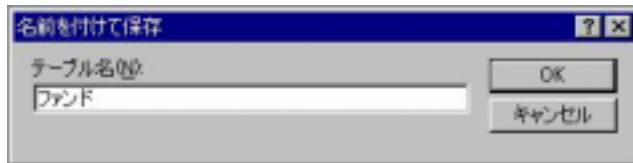
先輩:「OK。次に、P6にあるように『デザインビューでテーブルを新規作成する』んだけど、例えば“ファンド”テーブルを作ってみよう。今まで作ってきた図と、ACCESSのテーブルデザインビューを対応させてみると下図のようになるので、フィールド名は埋められるでしょう? ではデータ型についてだけど、コードが数字だけなら“数値型”でいいし、英字やカナが入るなら“テキスト型”にするといい。」



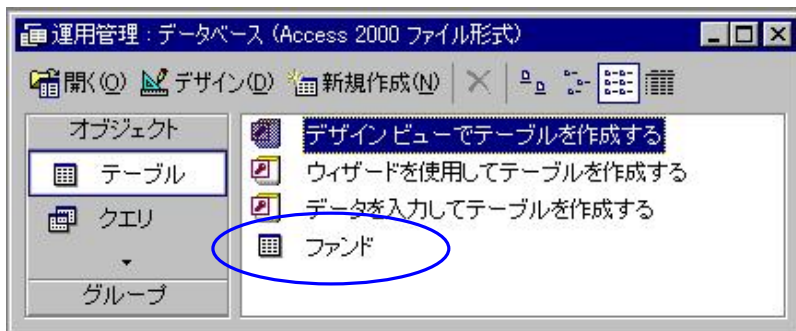
先輩:「それから、“**”印がついている項目は“主キー”を設定しておく必要があるので、P13を参照してやってみて。」



先輩:「最後に、「上書き保存」ボタンを押すと、テーブル名設定の要求がくるから、「ファンド」という名で保存すればいい。」



野口:「やったあ！できたぞ。」



先輩:「他のテーブルも同じ要領で作成すればいい。ただ、データベースの設計資料として、テーブルの定義表をExcelで作っておくといいよ。次の図を参考にしてね。」

テーブル定義表

ファンド

No.	項目名	キー	データ型
1	ファンドコード	主キー	数値型
2	ファンド名		テキスト型

資産区分

No.	項目名	キー	データ型
1	資産区分コード	主キー	数値型
2	資産区分名		テキスト型
3	ベンチマークID	外部キー	数値型

ベンチマーク

No.	項目名	キー	データ型
1	ベンチマークID	主キー	数値型
2	ベンチマーク名		テキスト型

ベンチマーク実績

No.	項目名	キー	データ型
1	ベンチマークID	主キー	数値型
2	年月	主キー	数値型
3	指数値		数値型
4	収益率		数値型

ファンド実績

No.	項目名	キー	データ型
1	ファンドコード	主キー	数値型
2	資産区分コード	主キー	数値型
3	年月	主キー	数値型
4	収益率		数値型
5	超過収益率		数値型
6	時価総額		数値型
7	構成比		数値型

総合収益

No.	項目名	キー	データ型
1	ファンドコード	主キー	数値型
2	年月	主キー	数値型
3	総合収益		数値型

政策アセット

No.	項目名	キー	データ型
1	資産区分コード	主キー	数値型
2	政策アセット		数値型
3	下限		数値型
4	上限		数値型

野口:「なるほど。こうやってExcelで設計のドキュメントを残しておくとなりがちですね。」

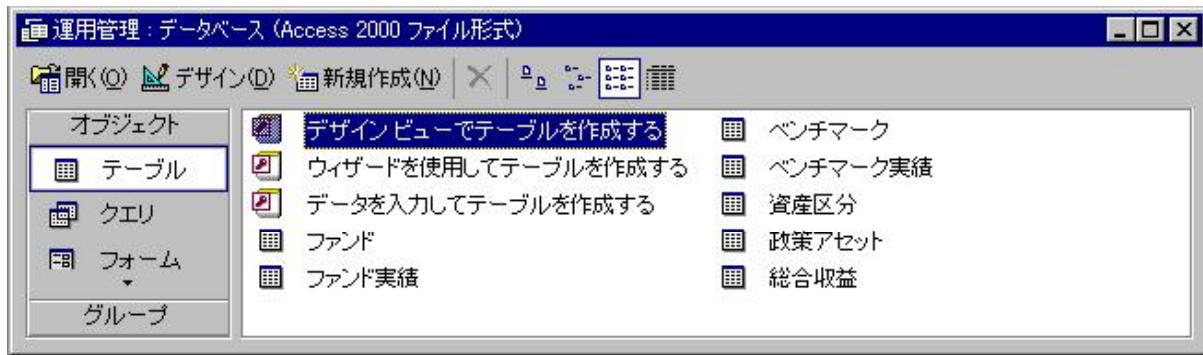
先輩:「そうだね。さあ、他のテーブルもさっさと作って！」

野口:「へいへい。ところで、主キーが複数ある場合はどうするの？」

先輩:「Ctrlキー押しながら複数の主キーフィールドを選択して、主キーボタンを押せばいいんだ。」



野口:「やれやれ、やっと7個のテーブルのデザインが終わりました。」(^_^;A アセアセ…



先輩:「よし、それじゃ次は“リレーションシップ”をやってみようね。」

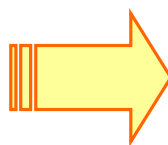
野口:「うへっ！展開が早くなりましたね。すこしお茶しませんか？ついてけない…」(^_^;)カンベンシテヨ

先輩:「いいよ。なんか甘いものが食べたいなあ〜♪」

野口:「ドン！」〔缶コーヒーと丸のままの“まるごとバナナ”を机に置いた音♪〕

先輩:「…用意がいいネ。でも、これまるごと1個食べろってか？ダイエット中なのに、のに、ね〜」

野口:「先輩、よだれでてるヨ！」



To be continued...

< コーヒーブレイク >

先:未納などをはじめ、年金問題ではずいぶん社会が揺れたように感じるね。

野:それだけ関心が高い、とも言えるでしょうが、理解度は高くないんじゃないですか。

まず、公的年金は賦課方式なんだから、①世代間の助け合いである。②したがって自分の保険料は自分に積み立てているわけではない。③世代間の不公平をどのように緩和するかを考える。という順序ははっきりと説明しておかなければね。

先:損得だけが強調されているように思えるね。

野:「20~30台の世代が年金のことを心配する社会が正常な社会であるわけがない。」という意見をコラムで目にしたけど、そのとおりだよな。日本は正常な社会じゃなくなったのかもね。

先:マスコミが煽りすぎるんじゃないのかな？

野:日本もそろそろ「真実は(自分を)控えめに語る」ってコトを悟るべきだよ。

先:声だかの人についていくほうが安心できるんじゃないのかな。大衆心理だね。

でも、なんかキミの発言ってオジンくさいね。やっぱお年寄りばかり相手にしているせい？

野:おおきなお世話ですっ！だいたい年金の話をはじめたの先輩じゃないですか。

先:まあまあ。とにかく、高齢化もすすんで年金に頼る世代が着実に増えているんだね。でも、物価が上がったらこういう人たちは大打撃だろうなあ。

野:逆に、物価がああも下がったので私たち現役世代は大打撃だったんです。

先:そういう言い方もあるのか…

野:まあ、変な言い方ですけどね。とにかく金利っていうのは、大変大きな影響力があります。

先:やっぱり、利回りの高いものにおカネを投じたって気持ちはあるよね。何がいい？

野:先輩の場合はそもそも投資する元手をためる必要がありますね。

先:・・・どうしてそういうことだけは適切な分析をするの！(TT;)

先輩:「大好物…とはいえ、丸のままドンと置かれてもねえ、お皿とフォークないの？」
野口:「ツウとは言えませんね。これはこうやって開けて食べるんです。(図を参照)」
先輩:「うわあ…おみごと！」 (@@;)

